



# 守ります 伝統芸能

船津太刀踊り（宍喰小学校6年生）



## 海陽町議会だより

9月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164  
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@kaiyo-town.jp



Vol. **46** (2017.11)

おもな内容

決算認定	2P
行政報告	13P
一般質問	14P

平成28年度

# 決算認定

さらに効率的な  
財政運営へ

平成28年度一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定の議案が提出され、私たちが納めた税金や、国・県からの補助金がどのように使われたかを慎重に審査した結果、すべて原案のとおり認定しました。

## 平成28年度一般会計 歳入・歳出決算の内訳

地方譲与税・利子割交付金・配当割交付金  
株式等譲渡所得割交付金・自動車取得税交付金  
地方特例交付金・交通安全対策特別交付金

地方消費税交付金  
1億5,737万円

町債  
9億1,993万円

国・県支出金  
12億9,077万円

歳入  
85億3,944万円

依存財源  
69億3,717万円

地方交付税  
44億8,428万円

分担金及び負担金  
5,509万円

繰越金  
3億3,465万円

町税  
7億4,952万円

自主財源  
16億2,277万円

諸収入  
2億4,303万円

使用料及び手数料  
財産収入  
繰入金  
寄付金  
2億1,998万円

歳出  
81億4,285万円

繰出金  
8億9,798万円

人件費  
8億7,979万円

扶助費  
5億5,810万円

義務的経費  
23億4,337万円

公債費  
9億5,488万円

投資的経費  
15億9,370万円

普通建設事業費  
14億3,270万円

物件費  
14億1,263万円

維持補修費  
5,266万円

災害復旧事業費  
1億9,338万円

### 目的別 歳出

#### 歳出総額



81億4,285万円

#### 議会費

議会の運営など。



6,988万円  
(0.86%)

#### 総務費

役場の管理運営・  
財産管理・地域振  
興対策など。



10億5,979万円  
(13.02%)

#### 民生費

社会福祉や生活扶  
助など。



17億898万円  
(20.99%)

#### 衛生費

保健衛生、ごみの清  
掃、し尿処理など。



7億25万円  
(8.60%)

#### 農林水産業費

農業・林業・水産  
業の振興など。



5億4,909万円  
(6.74%)

#### 商工費

商業・工業の振興  
など。



1億6,368万円  
(2.01%)

#### 土木費

道路・橋の建設、  
維持管理など。



9億6,121万円  
(11.80%)

#### 消防費

消防・水防・防災  
対策など。



4億7,757万円  
(5.86%)

#### 教育費

教育・文化・スポー  
ツ施設の充実など。



7億4,044万円  
(9.09%)

#### 災害復旧費

インフラ、ライフライン  
などの復旧。



1億9,339万円  
(2.37%)

#### 公債費

償還（借金返済）  
など。



9億5,488万円  
(11.12%)

#### 諸支出金

寄付金、基金積  
立など。



6億1,309万円  
(7.53%)

(※金額はすべて千円以下を四捨五入しています。)

決

算

認

定

# 28年度 一般会計

# 81億円はどう使われたのか

## ませのおか管理棟など新築事業に1億5548万円

**当**

年度の歳入総額は、85億3,944万円

で前年度と比べて84,555万円の減額となっており、科目別に見ると増加したのは「町債」「諸収入」「国庫支出金」等で、減少したのは「地方交付税」「繰入金」「繰越金」等である。

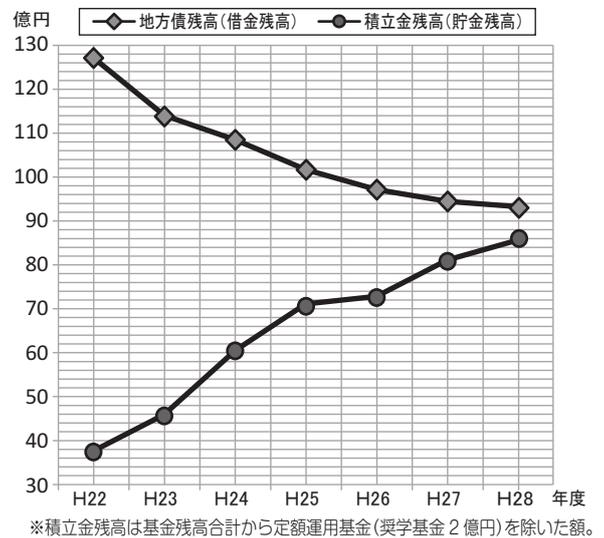
今後の課題として、合併市町村に係る地方交付税算定方法の特例による増加（平成28年度4億3,000万円）が、平成32年度までに段階的に減少し、平成33年度算定から新町一本算定となる。また、合併特例債の発行可能期限は平成27年度から5年間延長され、平成32年度までとなっている。義務的経費削減にも限度があるので、そのことを踏まえて、財政基盤強化に取り組ま

決  
算  
認  
定

### 基金残高一覧表

普通会計	財政調整基金	30億9,818万円
	減債基金	18億5,014万円
	特定施設振興調整基金	3億9,939万円
	鉄道経営安定基金	1億2,698万円
	地域福祉基金	2億7,388万円
	子どもあゆみ基金	8億6,632万円
	千年のいのちを守るまちづくり基金	13億5,753万円
	その他基金(普通会計)	1億285万円
特別会計	国民健康保険財政調整基金	2億450万円
	国民健康保険穴喰診療所財政調整基金	1億7,013万円
	その他基金(特別会計)	1億6,120万円
定額運用基金	奨学金基金	2億円
合 計		88億1,110万円

### 町の借金と貯金の推移



### 一般会計・特別会計 (単位: 万円)

会計別	歳入	歳出	差引
一般会計	85億3,944	81億4,285	3億9,659
国民健康保険特別会計	17億8,317	17億6,081	2,236
後期高齢者医療特別会計	1億7,589	1億7,295	294
介護保険特別会計	15億1,159	14億9,919	1,240
浅川公共下水道事業特別会計	5,688	5,496	192
海部公共下水道事業特別会計	1億3,511	1億3,116	395
穴喰公共下水道事業特別会計	2億127	1億9,584	543
神野農業集落排水事業特別会計	1,635	1,556	79
川西農業集落排水事業特別会計	2,608	2,497	111
日比原農業集落排水事業特別会計	1,181	1,020	161
漁業集落排水事業特別会計	1,449	1,316	133
川西簡易水道事業特別会計	2,982	639	2,343
海部簡易水道事業特別会計	6,063	5,340	723
中里簡易水道事業特別会計	508	253	255
川上簡易水道事業特別会計	2,334	1,256	1,078
鉄道経営安定基金特別会計	6,645	6,645	0
穴喰診療所事業会計	1億3,717	1億324	3,393

### ○奨学金基金とは

海陽町は奨学金制度があり、経済的理由により高校・大学などへの進学が困難な方に対し、学資の貸付を行うための基金です。



事業は順調！耐震化を含め、  
より一層の改善を！

包括ケア病床導入で  
改善の兆し

## 平成28年度上水道事業会計

事業収入	1億2,450万円 (-261万円 対前年度)
事業費用	1億768万円 (-574万円 対前年度)
純利益	1,682万円

### 事

業は順調に推移しているが、営業収益は昨年度に比べ215万円の減である。この要因は人口減少に伴う給水人口の減や節水対策により、年間給水量の減少によるものである。

防災面から見ると、南海トラフ巨大地震に備え、水道施設の耐震化などを進めることにより、地震・津波対策を計画的に講じていただきたい。さらに、簡易水道会計との統合に向け、各施設の固定資産

の調査・評価が行われたところであるが、適正かつ公平な制度導入により、健全な事業推進が行われるよう期待するものである。



耐震管に交換される水道工事

## 平成28年度海南病院事業会計

事業収入	5億535万円 (-65万円 対前年度)
事業費用	5億3,110万円 (+585万円 対前年度)
純損失	2,575万円

### 過

去3年続いた3億円を超える一般会計からの繰入金金は2億8000万円と減少したが、2575万円の赤字となっている。主な要因としては、地域包括ケア病床の導入等により、患者数は増加し、医療収入に占める職員給与比率は昨年度の143.1%から、今年度は120.1%と減少したが、なお改善が必要な数値である。

平成28年度には、地域包括ケア病床の導入もされ経営改善の兆しはあるものの、地域包括医療の拠点としての役割を果たすためには、外来及び入院患者の安定確保は必須であり、各種サービスの向上と経費削減等の幅広い取り組みなど、さらなる見直しが強く求められる。



丁寧なりハビリ指導

## ○ 海陽・東洋町議会意見交換会

【阿佐東線のDMV導入について】 H29.7.24



DMV 試乗



活発な意見交換の様子

## ○ 海部郡議員研修会

【県南の高規格道路の現状と展望(将来計画)について】 H29.8.28



熱望される高規格道路の勉強会

## ○ 議会広報紙作成講座

【講師による各議会の広報紙クリニック】 H29.8.23



発表する長尾副委員長

9月

5日 議会運営委員会  
5日 議会全員協議会  
11日 第3回定例会(1日目)  
11日 海南病院改革特別委員会  
11日 議会運営委員会  
12日 文教厚生常任委員会  
13日 総務産業建設常任委員会  
20日 議会広報編集特別委員会  
24日 海陽町敬老会  
26日 四国町村長・議長研修会(高知市)

8月

4日 徳島県町村議会議員研修会(徳島市)  
23日 町村議会広報紙作成講座(徳島市)  
28日 海部郡議員研修会

7月

12日 徳島県女性議員連盟総会(徳島市)  
14日 議会広報編集特別委員会  
16日 DMVわくわくオープニングセレモニー  
24日 海陽町・東洋町意見交換会  
25日 県議長会定例会(徳島市)  
26日 県土木に河川改修要望(徳島市)

議会のバリエーション

7月1日から9月30日まで

海陽町議会では、総務産業建設・文教厚生部の2常任委員会、海南病院改革特別委員会を設置しています。本会議から付託された議案を9月11日、12日、13日に開催された各常任委員会で活発に審議をいたしました。

## 総務産業建設常任委員会

### 穴 喰防災公園整備はじまる

委員長 原 ひろみ

9月13日開会。

玉笠橋を巡視後、上程8議案の説明を受けた。

#### 平成28年度決算報告

は、一般会計歳入総額85億3944万円、歳出総額81億4285万円、差引額3億9659万円、実質収支額は2億9610万円である。

歳入のうち町税は8.8%であり、自主財源は18.8%、依存財源の大部分を占める地方交付税・国庫県支出金の合計は67.6%に達している。歳出では民生費、総務



玉笠橋巡視

費、土木費、公債費の順で上位を占める。税の徴収率は2.1ポイントアップの91.4%。

今後、合併特例による上乗せ分普通交付金が減少する中で、いかに自主財源の根幹をなす町税の徴収率を増やしていくか、納税者の不公平のないように財源確保のため努力が必要である。また、今後防災公園も必要となり、今後も事業が継続できるよう、その財源調達が必要であるなど、様々な意見が出た。

特別会計決算では、海部

徳島滞納整理機構参画により成果を上げているが、委員からは不納欠損がないよう徴収努力をとの意見が出た。

公共下水道事業特別会計で、計画区域の管渠整備は、ほぼ終了。穴喰公共下水道事業特別会計で、久保地区の管渠工事・実施設計などを実施した。

公営住宅法の改正があり、29年7月26日から施行されることとなり、それに伴い町条例を改正するものである。

岩山津波避難路手すり修繕費129万円、消防団雨衣購入事業100万円。産業観光関係では、とくしま豊かな森づくり事業891万円、B&Gプール修繕費600万円。

今後、合併特例による上乗せ分普通交付金が減少する中で、いかに自主財源の根幹をなす町税の徴収率を増やしていくか、納税者の不公平のないように財源確保のため努力が必要である。また、今後防災公園も必要となり、今後も事業が継続できるよう、その財源調達が必要であるなど、様々な意見が出た。

水道事業会計において、事業は順調であるが営業収益は人口減少に伴う給水人口の減少や節水対策による年間給水量の減少により、昨年より215万円の減少となった。

簡易水道施設等遠隔監視システム整備工事請負契約は、\*プロポーザル方式で審査をした結果、契約金1億1448万円で(株)ソウ四国支店に業者選定された。

委員から、穴喰川や母川などの立木や土砂の堆積を除去し、災害の防止を県に要望してほしいとの意見が出た。

条例改正として、農業委員会の委員および農地利用最適化推進委員の定数に関する条例を定めるもの。農業委員の定数を14人に減らす。最適化推進委員は9人とし、農地面積に応じて海南地区4人、海部地区2人、穴喰地区3人を予定。

主なものでは建設関係として、穴喰地区地域防災公園整備事業6370万円、町道穴瀬谷線舗装修繕工事600万円、町道玉笠橋架け替え工事検討業務370万円、家具固定専門員派遣事業72万円、芝地区農道舗装工事650万円、塩深用排水路改良工事600万円、県単治山事業(那佐地区)460万円。

総務関係では、上田利治監督お別れ会に229万円。委員から、穴喰川や母川などの立木や土砂の堆積を除去し、災害の防止を県に要望してほしいとの意見が出た。

特別会計決算では、海部

町営住宅管理条例の一部を改正する条例では、

概要は以上のとおりで、委員会を閉会した。

※プロポーザル方式とは複数の者に企画を提案してもらい、選定すること。

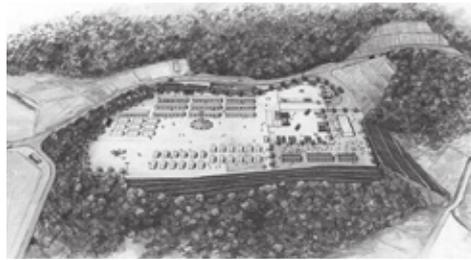
# 快適な生活道路として

**農**道ではありますが、生活道路として活用している道を、順次舗装します。

## 650万円

### 芝地区農道舗装工事費(2路線)

# 防災拠点整備スタート



災害時の防災公園 (完成予想図)

委託料 内訳

- 1) 公園造成詳細設計費 3030万円
- 2) 残土処理場測量調査費 880万円
- 3) 開発許可申請業務費 430万円
- 4) 用地測量調査等囑託登録業務費 2030万円

## 6370万円

### 穴喰地区地域防災公園整備事業(委託料)

# 水の安定供給のために



現状の配水管

**大**雨による河川増水により浸水し、流木等があったるなど配水管への被害が懸念されています。その対策として配水管の位置を現状より、かさ上げする改修工事を行います。

## 750万円

### 中野水道配水管改修工事

# 新しい幹線道路を目指して



玉笠橋の全景(海部川下流から撮影)

**津**波災害時の迂回路となる町道玉笠線(玉笠橋)は架橋後54年が経過し、損傷が著しく、地震により落橋や町全体が孤立する恐れがあります。架け替えを見据えた検討業務です。

## 370万円

### 玉笠橋検討業務委託料

# 地震に備えて安全に



しっかり留めて安全に

**65**歳以上、要介護者、身体障がい者、小学生のいる世帯の対象要件を撤廃し、全世帯申し込みできるようにになりました。30戸分増やし、今年80戸分とします。登録した専門員が派遣され、1戸3家具まで無料となります。それ以上は自己負担となります。

### 家具固定業務委託料 72万円



損傷して危ない手すり

**竹**等の倒木により、手すりが数カ所損傷しているため、修繕を行います。

## 129万円

### 穴喰愛宕山避難路修繕工事

## 文教厚生常任委員会

### 穴喰地区小中一貫教育検討中

委員長 三浦 茂貴

9月12日開会。

決算認定について平成28年度国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険の3つの特別会計決算の説明を受けた。穴喰診療所の医業費の減少は院外処方移行に伴うもので、単年度決算は1400万円余りの黒字である。

人権擁護委員候補者の推薦は、前任者の任期満了に伴い後任者を推薦するものである。

次に一般会計補正予算の協議を行った。

民生費1301万円の主なものは、海部西保育所の塀の改修工事費125万円、婦人会主催



旧恵の園保育所巡視（両常任委員会）

の婚活イベントへの補助金25万円など。  
衛生費2602万円の主なものは、穴喰斎場へのテレビ設置費12万円、二酸化炭素の排出抑

制カーボン・マネジメント強化事業実施委託料972万円、海岸漂着物の回収撤去に伴う業務委託料333万円など。

教育費4689万円の

主なものは、穴喰小学校キュービクル改修にかかる費用3912万円、海陽中学校技術室耐震改修工事設計委託料195万円、校区外遠距離通学助成金50万円、野江グラウンドのナイター設備の撤去33万円などであった。委員より「穴喰小学校のキュービクルについて水害対策はできているのか」との問いに、「2メートルかさ上げする」とのことであった。また、「校区外遠距離通学助成金は中学生だけで小学生には出ないのか」との問いには「小学生にも指定校変更は認めている者もいるが、自己都合で校区外に通う者については対象に

ならない」とのことであった。

最後に国民健康保険特別会計補正予算の説明を受け、その他に移った。

「6月に要望した旧海部西小学校のプールの方角付けは、その後どうなっているのか」との質問があり、「前向きに改修や跡地利用について検討しているので、もう少し時間がほしい」との回答があった。また、那佐斎場前のテニスコート利用については、「愛あいクラブを含めて跡地利用を模索している」との回答であった。

があった。

次に教育長より「今後5年程度の学校の教育方針について」の説明があり、「5年のスパンで穴喰地区の小中一貫教育を進めていく。学校の規模に関わらず公平性を重視したい」とのことであった。

最後に、海南小学校普通教室エアコン設置についての要望書を審査し、町長より「海南だけでなく5校を公平に、夏休みの短縮なども含め、教育委員会で学校現場とも協議した上で、前向きに検討していきたい」との回答があった。当委員会は要望書を採択し、教育委員会から当委員会に対して総合的な計画の中身をきちんと出してくるよう

に要請をしている。

他にも様々な協議は行われたが概要は以上で委員会を閉会した。

# 教育環境の整備に



安全な授業のために

**技** 術室の耐震診断の結果により、耐震改修工事の設計を行います。工事は来年度実施する予定です。

**195万円**

**海陽中学校技術室耐震改修事業**



川のそばにあるキュービクル

**3** 年前の浸水被害を受けキュービクルのかさ上げ、また老朽化に伴い交換します。また、今後の活用を見据えて容量を大きくしての導入です。

**3912万円**  
**突喰小学校キュービクル**

遠距離通学助成金を追加(小中学校)



**町** 内の指定された学校以外へ就学した小中学生に、通学用定期券または通学自転車の購入費助成を行います。助成の上限は5万円です。助成は平成29年4月にさかのぼって行う予定です。

**51万円**  
**助成金**

**遠距離通学**



## 地球温暖化対策の取り組みに



会議室の照明も省エネタイプへ

**地** 球温暖化対策の推進に関する法律により、10/10の補助で海陽町の施設のエネルギー使用量を調査、分析します。(海南庁舎・海南病院・B&Gプール・海陽中学校) この調査をもとにLEDの電球等省エネ対策導入時、環境省の補助を受けることができますようになります。

**972万円**

**カーボン・マネジメント強化事業**  
**(三酸化炭素排出抑制対策事業)**

議

案

審

議

## 海南病院改革特別委員会

### リハビリ業務3人体制

委員長 長岡 秀一郎

9月11日開会。

10時50分より、第一委員会室にて、委員全員、町長、副町長、松田病院事務長出席の中、委員会を開会した。

9月定例会に提出された平成28年度海南病院事業会計決算、平成29年度海南病院関係補正予算、また今後の病院経営方針について説明を受けた。

平成28年度収益的収入は、医業収益2億8947万円、医業外収益2億1645万円、計5億592万円。支出については、5億3168万円である。当年度の純損失は2574万円。当年度未処理欠損金は4億2559万円。前年

等々の利用が加算された結果であると報告を受けた。

起債償還は平成28年度6700万円、29年度3500万円と減少傾向にあり、厳しい状況は乗り越えられたのではないかと。しかし今後、機器等の入れ替えが必要になってくることである。

現在職員数は、正規33人、臨時11人の44人体制で対応している。

また、キャッシュフロー

計算書の資金期末残高が2482万円と、昨年より約2300万円増額となっている。

外来・入院患者数は、外来が1万9063人、入院が8192人と前年度よりも増加している。

病床稼働率については、全体で49・9%、入院一人当たりの収益は2万2236円、外来が4638円である。長期入院患者の診療報酬取り扱いは、厳しいが単価を上げるための努力をしている。収益増は施設基準の評価、包括ケア病床

もあつた。

その後、質疑に入り、経費削減については海部・那賀モデルで共同購入を進め、できる限りの削減努力はしている。医師確保については町長より病院と連携して協議を重ねているが、徳大も確保できていない状況であり、町として常勤医師の採用は厳しいと感じているとの意見もあつた。

9月補正は、資本的収入及び支出758万円を

計上し、全身用X線CT診断装置1台、電子内視鏡システム装置1台の購入に伴う追加補正である。

今後の取組みについて

は、医療従事者の相互交流である医師・看護師・検査技師の研修会への参加。海部・那賀地域のICT活用による医療ネットワーク化、テレビシテム導入。また徳大を中心として、全県下での遠隔診療支援にICTをさらに拡大する事業等に参

加していきたいとの説明

過したが、一層の改善努力を期待し、11時50分委

員会を閉じることとした。

## 医療機器が新しくなりました



機能が良くなったCT

### CT装置 コンピュータ断層撮影装置

線を使って身体の断面を撮影する装置です。機械の老朽化により、最新型CT装置を導入しました。今までより高画質な画像が楽な姿勢で早く撮影できます。

疾患の早期発見・早期治療を行うことで、町民の健康管理の向上に寄与してまいります。

# 第3回定例会

## 議案の審議

平成29年第3回定例会は、9月11日開会、町長より次の11議案が提出され、審議の結果原案どおり可決・承認し、9月15日閉会した。

## 条例関係

- ・農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例
- ・特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
- ・町営住宅管理条例の一部を改正する条例

## 農業委員会関係の改正

改正農業委員会等に関する法律(平成28年4月1日に施行)は、体制等大幅な制度改変がされている。

1. 農業委員の選出方法…町長が議会の同意を得て任命
2. 農地利用最適化推進委員の新設…農業委員会が委嘱  
※担当区域で農地利用推進など現場活動を行う

## 今回の条例改正(上記の法律改正に伴い)

- 農業委員の定数…14人(改正前27人)
- 農地利用最適化推進委員…9人(新設)  
※海南地区4人、海部地区2人、穴喰地区3人の予定
- 農業委員・農地利用最適化推進委員の報酬を規定

## 契約関係

- ・簡易水道施設等遠隔監視システム整備工事請負契約について  
契約金額 1億1448万円
- ・契約相手 株式会社フソウ四国支店
- ・工期 議決日の翌日から平成30年2月28日

## 予算関係

- ・平成29年度一般会計補正予算(第3号) 2億3037万円↑
- ・平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 1545万円↑
- ・平成29年度下水道事業特別会計補正予算(第2号) 50万円↑
- ・平成29年度川西農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 20万円↑

注釈  
↑ 増額  
↓ 減額

- ・平成29年度海南病院事業特別会計補正予算(第1号) 758万円↑

## 承認関係

- ・決算の認定について  
(2・3ページ参照)

- ・人権擁護委員候補者の推薦について



住所…四方原字大道東  
氏名…谷崎 淑文

## 議員発議

- ・「全国森林環境税」の創設に関する意見書  
(12ページ参照)

## 9月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	9月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億6,935万3千円	8.9
地方譲与税	0	5,650万円	0.7
利子割交付金	0	70万円	0.0
配当割交付金	0	560万円	0.1
株式等譲渡所得割交付金	0	310万円	0.0
地方消費税交付金	0	1億2,380万円	1.6
自動車取得税交付金	0	950万円	0.1
地方特例交付金	0	80万円	0.0
地方交付税	0	36億4,472万9千円	48.2
交通安全対策特別交付金	0	100万円	0.0
分担金・負担金	69万円	6,444万5千円	0.9
使用料・手数料	0	6,957万2千円	0.9
国庫支出金	△221万2千円	5億7,228万9千円	7.6
県支出金	1,230万2千円	5億789万4千円	6.7
財産収入	0	4,471万5千円	0.6
寄附金	0	70万円	0.0
繰入金	△163万3千円	4億3,689万円	5.8
繰越金	8,723万1千円	2億1,604万6千円	2.9
諸収入	782万7千円	7,225万1千円	1.0
町債	1億2,616万5千円	10億5,756万5千円	14.0
合計	2億3,037万円	75億5,744万9千円	100.0

歳出	9月補正	補正後	構成比率
議会費	0	7,129万4千円	0.9
総務費	△389万4千円	12億1,986万8千円	16.1
民生費	1,301万6千円	17億2,872万円	22.9
衛生費	2,602万6千円	7億7,987万5千円	10.3
農林水産業費	3,833万円	5億4,362万6千円	7.2
商工費	70万5千円	2億2,895万9千円	3.0
土木費	1億362万円	10億5,209万7千円	13.9
消防費	267万1千円	4億6,766万9千円	6.2
教育費	4,689万6千円	6億5,541万3千円	8.7
災害復旧費	300万円	3,020万円	0.4
公債費	0	7億6,478万5千円	10.1
諸支出金	0	359万5千円	0.1
予備費	0	1,134万8千円	0.2
合計	2億3,037万円	75億5,744万9千円	100.0

# 本議会での議案審議

平成29年度  
一般会計補正予算(第3号)

**Q1** 有害鳥獣の食肉利活用  
のための処理加工施設整備  
補助金 (50万円)



長尾議員  
どういう施設で、  
どこにできるのか。

横産業観光課長

有害鳥獣であるシカやイノシシ  
など捕獲した肉を処理する施設。  
まだ正式に決定していないが、大  
井にできる予定。

**Q2** 子どもあゆみ費  
備品購入費 (33万円)



小山議員  
チャイルドシー  
トやベビーカーな  
どのレンタル事業

であるが、需要はあるのか。待つ  
ている人はいるのか。また、他の  
要望はないのか。

浦川福祉課長

待っている方はいないが、現在  
保有しているチャイルドシート8  
台は、利用されている方で埋まっ  
ている。今回、3台を追加し、お  
待ちいただく方のないよう、早め  
に購入していきたい。

他の要望は今のところないが、  
意見や要望があればお受けしたい。

**Q3** 塵芥処理費業務  
委託料 (333万円)



白濱議員  
漂流物処理の場  
所はどこか。

長江保健環境課長

場所は決めておらず、台風の状態  
で流木などが多いところを優先  
的に除去していく。

## 要望書

### ○ 海南小学校普通教室エアコン設置についての要望書

これからの町を担う子どもたちの安全と安心、集中して学習できる環境  
整備のためのエアコン設置を強く要望する。

海南小学校保護者代表

☆町内5校を公平に検討し、教育委員会に総合的な計画の提出を求め、採  
択しました。

## 意見書

### ○ 「全国森林環境税」の創設に関する意見書

市町村が主体となって実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、  
「全国森林環境税」の早期導入を強く求める。

議会で審議の結果、異議なく採択しました。

# 危機管理に伴う 道路整備について

町長 前田 恵

去る8月25日、マイク  
ロバスに大型トラックが  
衝突した事故により、海  
陽町出身の森下汐音さん  
がお亡くなりになられ  
た。15歳という短い人生  
を閉じた悔しさ、無念さ  
はいかばかりかとお察し  
申し上げる次第である。  
汐音さんのご家族に改め



敬老会での挨拶

て衷心よりお悔やみを申  
し上げますとともに、二  
度とこういった悲惨な交  
通事故が起きないように、  
心から願うばかりである。  
この時期、特に気にな  
ることとしては**危機管理**  
である。国全体の問題と  
しては、やはり北朝鮮問

題ではなからうか。安全  
保障・防衛問題について  
は、国の方でしっかりと  
とやってももらいたいし、  
我々も国の方針・指示に  
基づき、町民を守るため  
に最大限の努力をしなけ  
ればいけない。

さらに気になることと  
して、**大雨集中豪雨等**に  
よる土砂災害である。発  
生要因の根本は異常な雨  
の降り方にある。いかに  
避難勧告・避難指示など、  
適切な指示や行動がとれ  
るかということ、我々  
の責任も重大である。町  
民の命と財産を守るべ  
く、心新たに取り組んで  
いきたい。

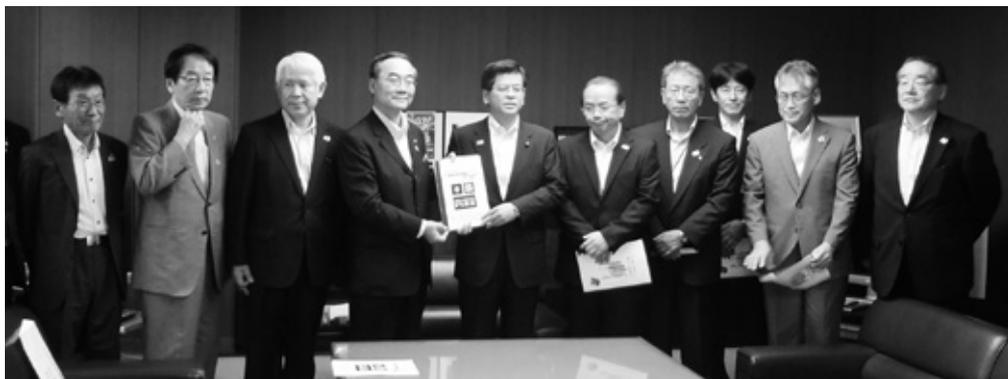
7月16日、宍喰駅にお  
いてDMVわくわくイベ  
ントのオープニングセレ  
モニーを実施した。今後、  
様々なイベントを予定し  
ており、導入に向けた気  
運の醸成を図ることとし  
ている。海部川風流マラ  
ソンへの使用も検討して  
いる。

**宍喰地区防災公園計画  
と海部道路**の関連につい  
て、防災公園基本設計業  
務を発注し設計を進めて  
きたが、8月末をもって  
完了し、9月7日、基本  
設計の内容について住民  
説明会を開催した。

8月30日に飯泉知事を  
はじめ、四国横断自動車  
道と阿南安芸自動車道の  
関係する自治体首長全員  
を含め、総勢27人で国  
土交通大臣、財務副大  
臣、自民党政調会長に提  
言と要望をさせていただ  
いた。海部道路の都市計  
画決定に向けては、確実  
に前進していくものと強  
く感じた。今後も今まで  
以上に国や県、そして町  
民皆様方と連携を密にし  
て、事業推進に向けて強  
力に働きかけていきたい。

**子どもあゆみ事業**につ  
いては、平成29年度の出  
生見込み数の減少に伴  
い、8月17日に福祉課・  
住民人権課・保健環境課  
で状況分析の会議を開催  
した。また、少子化対策

審議会、婚活事業等につ  
いても順次開催されるこ  
とになっている。こう  
いった取り組みにより、  
少子化の解消につながる  
ことができればと考えて



「石井国土交通大臣」に知事と要望

いるが難しい問題で、引  
き続き地道な取り組みが  
求められている。  
新聞に県内小中学校の  
**エアコン設置**状況が報  
道されて以降、

様々な意見が寄  
せられている。  
全国的にも設置  
は進んでおり、  
2010年で  
設置率16%が、  
2017年4月  
では49・6%と  
なっている。近  
年、夏場の異常  
とも思える気温  
の上昇が進む中  
で、熱中症対策  
も急務となつて  
おり、エアコン  
導入を熱望する  
声が届いてい  
る。導入を視野  
に入れた調整を  
進めていく必要  
性を感じてお  
り、今後十分協  
議し、前向きに  
判断していきたい。

# 行政のスリム化と民間委託の構想は

〈町長〉できていない部分を十分検討したい



三浦 茂貴 議員

**問** 合併のアメの部分である地方交付税の上乗せ特例が4年後には無くなり、累計で16億8000万円減らされる。今後の展望をしっかりと持った中で行政運営をしていく必要があるが、旧三町分の財源が4年後、一町分になった時、町はどの程度の財政規模が適正であると考えているのか。

**答** 佐藤総務課長  
単純計算的には一人当たり9万円ぐらいの人口割りで、77億円ほどと考えている。

**問** 合併後、職員が3人退職したら1人採用するという方針であったが、近年は1人退職したら1人採用するという従来の方針に戻っている。海陽町行財政改革プランの中には、平成47年には海陽町の人口は6182人にまで減少するという長期的な予測も記されている。約20年後に人口6182人となった時、約何人の職員数が適正であると考えているのか。

**答** 前田町長  
合併して11年が経ち、民間委託等、まだまだ出ていない部分を庁舎内で十分検討したい。

**答** 総務課長  
合併時から今現在、正

## 学校教育行政の将来展望はできているのか

〈教育長〉とりあえず5年程度は5校体制が望ましい

**問** 教育行政も、将来の具体的な展望が不可欠である。教育振興計画の中には、平成27年度小学校の児童数373人が6年後の平成33年度には261人(112人減)、同じく中学校242人が6年後には171人(71人減)という数値も載っているが、具体的な施策は載っていない。先を見据えた具体的な将来展望はできているのか。

**答** 岡田教育長  
とりあえず5年程度のスパンの中で学校教育、社会教育の整備を

**問** 平成23年に策定された第一期教育振興計画には、将来的に小中学校の優先順位をつけて進めていきたい。具体的には、現在の5小中学校体制を基本とし、小中、そして高校の連携、コミュニティとの共同体制を強化したい。特に、英語教育の向上を中心に、ICTを活用していきたい。

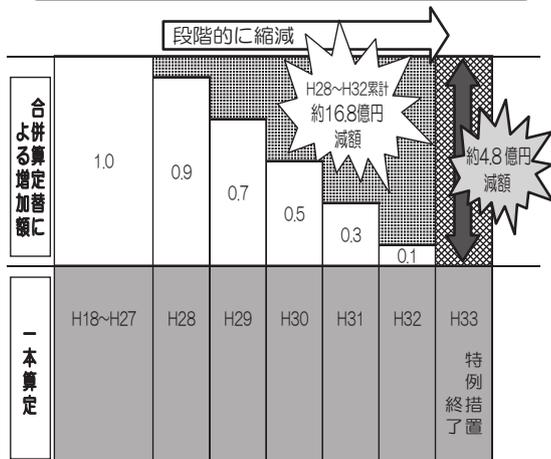
**答** 町長  
海陽町の子どもを第一に考えていかなければいけないと感じている。教育委員会としっかり議論させてほしい。

**答** 教育長  
第一期の振興計画を十分踏まえた上で第二期に進んだ。将来の2校体制、1校体制も見つめていかなければいけないと考えている。ただ、5年間程度のスパンを考えると、今の5校体制が望ましい。

子どもたちのことを真剣に考えて、将来的なプランを志において教育行政を進めていただきたい。

約20年後には、10Tがもつと発達して、職員が20から30人程度しか必要なくなっている時代が来るかもしれない。将来の具体的な展望を全員で共有した中で、必要な施策を無駄のないように進めていってほしい。

普通交付税の合併算定替による増加額の縮減イメージ



合併特別算定替措置が終了する場合に減額される普通交付税額

人口の推移



※実績値は国勢調査、推計値は将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)による

般 質 問



長尾 正大 議員

**問** Jアラートとは、仕組み等どういったものか。

**答** 片田危機管理課長  
国から住民に直接、緊急情報を知らせるために、総務省・消防庁が整備を行ったもの。

# どこに逃げたらいいのか

〈危機管理課長〉

緊急放送により行動していただきたい

**答** 危機管理課長

**問** 気象庁や内閣官房が発したJアラート警報後、町の役割、また住民に対しての対応は。

**答** 危機管理課長  
町広報紙で導入当初と年2回緊急地震速報の訓練を、Jアラートの訓練として知らせている。

**問** Jアラートについて住民には、どのように周知しているのか。

**答** 危機管理課長  
Jアラートで送信される緊急情報は、気象庁から地震・津波・火山等の警報・注意報。内閣官房から弾道ミサイル・航空攻撃・ゲリラ特殊部隊攻撃・大規模テロの情報。これが人工衛星で市町村に送信され、市町村が専用の受信機で受信、その後、防災行政無線が自動起動し、警報音やあらかじめ録音された音声が始動に放送される仕組み。

**答** 危機管理課長

気象関連の情報は職員が参集マニュアルに基づき対応。内閣府から有事関連の情報は、海陽町国民保護計画により職員参集、情報収集、関連機関との連携、住民避難が主になるものと考えている。

**問** 今回のミサイル等で緊急に入ってきた場合については、Q&Aが国から示されており、宿日直の方に文書を周知している。その後、国からの情報が入り次第、情報を提供していく。

**問** Jアラートによる警報があった時、どこに逃げればよいのか。

**答** 危機管理課長  
ミサイルが領土・領海に落下する可能性がある場合は、「ミサイル発射、建物や地下に避難してください」という放送がある。領土・領海の上空を通過した場合は、「ミサイル発射、ミサイル通過、先ほどこの地域の上空をミサイルが通過した模様です。不審なものを発見した場合には決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡してください」という放送がある。まず緊急放送により行動していただきたい。

**答** 危機管理課長

8月29日、ミサイルが襟裳岬の上空を通過し太平洋上に落下した時、当該市町村で総務省から送信された発射情報などが24市町村は放送が流れず、20市町村は機器設定ミスがあったと報道された。海陽町では機器の設定等確認はできているのか。

**問** 子育て世代包括支援センターを設置するのか。

**答** 危機管理課長  
毎年訓練により正常に稼働したか確認している。今年は11月に実施する予定。北朝鮮によるミサイル発射の兆候を踏まえ、機器の受信や作動状況の訓練を行っている。

## 子育て世代包括支援センターを設置するのか

〈町長〉十分に検討したい

**問** 子育て相談窓口で、相談や支援を行う子育て世代包括支援センターとは、どういったものか。

**答** 長江保健環境課長  
ワンストップ相談窓口において、地域ごとに関係機関と情報を共有し連携して、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を確保する機能を持つ仕組みのこと。

**問** センターの設置に必要な条件は。

**答** 保健環境課長  
保健師等、一人以上配置が必要。

**問** 母子健康法が昨年改正され、市町村はセンターを配置するように努めなければならないとある。内閣府でも平成32年度末までに全国展開を目指すとしていて、国が積極的に進めている中、海陽町では子育て世代包括支援センターをどう進めていくのか。

**答** 前田町長  
実施するのであればできるだけ多くの職員を配置するなどしたいが、今後検討していきたい。

**問** 法律での努力義務、32年度末というのは、どのように考えるか。

**答** 町長  
十分に検討したい。



げんきひろば（乳児相談）

般 質 問



小山 慎 議員

# 中山間地域の避難対応は

## 〈町長〉最良の避難方法を考える

**問** 8月の台風5号時、宍喰・船津地区において、地域の指定避難所が開所できない旨の通知が配られてきたが、住民の方が混乱したと聞く。閉所理由や、その後の適切かつ安全な避難行動など、十分理解していただけるよう対応したのか。

**答** 片田危機管理課長

船津公民館は全域が地すべり危険箇所指定されている。離れた避難所に行くことは負担となり簡単ではないが、現在の対応は、早めの避難をお願いすることしかない。命を守る観点から、今後でも啓発に努めていく。

**問** 中山間地域には指定避難所が多数存在する。今回の同様な措置を取った避難所は何力所であったのか。また、日頃から地域住民の方と相互理解を深められるような説明会を開催しているのか。

**答** 危機管理課長

新たに開所しなかった避難所は、海南地区3カ所、宍喰地区5カ所。地域ごとの説明会は終わっていない。現在は広報紙で大雨時の注意事項を啓発しているが、今後機会を捉え丁寧な説明に努めていく。

## ヘリポート整備が不可欠

### 〈町長〉検討すべき課題

**問** 町民の安全・安心を守ることは、行政の最も基本的な責務である。災害区分別によつては、多くが閉所を余儀なくされている。この課題はハード・ソフト面とも早急に解決すべきであるが。

**答** 前田町長

形状的・地域的にも新たなハード面で施設を整備することが困難な地域は、できるだけ早く安全な場所に避難していただき、ソフト面で啓発に十分努めていく。こちらからも出ていく。こちらからも出る意見の聞き、最良の避難方法を考え周知徹底をさせていた

**問** 海南病院は災害拠点病院に指定されており、ヘリポートを有することも要件としている。将来、様々な事故や災害も想定すべきである。病院の横に平時から使用できるヘリポートがあれば、医療機関との迅速な連携により様々な防災活動にも対応できる。病院と文化村駐車場との間にある公園は利用者も極めて少なく、維持管理のみに費やしているのが現状である。先を見据えた有効利用を考えれば、平時から使用できるヘリポートの整備が必要不可欠で重要であるが、どうか。

**答** 松田海南病院事務長

ヘリポートの整備は常に院内防災委員会等で議題の中心となつていく。幾多の救急搬送、有事を想定した訓練で、現在の隣接する文化村駐車場では文教施設も近く、病院との高低差もあるなどの課題がある。現状を考えると有事の際の医療チームの受け入れ、救急車・医療物資等の輸送が安全で円滑に行えるヘリポートの整備は必要と

**問** 孤立化が想定される集落には救急緊急ヘリポート用地を確保できない場合も、平時から候補地を選定しておくとしていく。孤立化を未然に防ぐ対策にどのように取り組んでいるのか。

**答** 町長

総合的に判断する中で、一番良い方法を検討すべきである。

**問** 危険管理課長 指定場所の選定については立地条件等のハードルが高いため、進んでいない。土砂災害等の説明会の機会を捉え、同時にヘリポートの件も検討していく。

**問** 宍喰地区において津波浸水想定区域外の避難所で見れば、最初に中里農耕センターがある。この施設は規模も大きい。そのため、災害時の医療救護所の候補地でもあり、孤立化の可能性もある集落にも該当する。物資の空輸により、様々な救出・救護活動が可能

となる。この地域にも災害用ヘリポートを確保しておくべきと考えるがどうか。また、施設に不具合があり災害時には機能しないので、改修する必要があるがどうか。

**答** 危機管理課長

災害時・緊急医療時のヘリコプターは非常に有効かつ重要。協力いただける用地があれば、今後検討していく。

**答** 町長

施設整備で不便をかけているのは事実。整備が早くできるよう検討を進めていく。



ヘリポートの使用イメージ

# 産前産後ケアにヘルパー派遣事業の導入を



原 ひろみ 議員

〈保健環境課長〉 調査研究をし、検討したい

**問** 急速な少子化が進行する中、共働き世帯の増加、核家族化の進行、労働形態の変化など、子育て家庭を取り巻く環境が大きく変化している。町内では子育て支援策を打ち出しているにも関わらず、今年度の出生数は昨年の半分しかない。女性にとつて出産は肉体的・精神的にかなりの負担になる。周囲の手助けが必要である。母親の孤立化や産後うつ等の予防、精神的・肉体的不安や疲労軽減を図るため、産前産後の家事支援、育児支援のできるヘルパー派遣事業の導入はできないのか。

**答** 長江保健環境課長  
子育て支援包括支援センター事業の一環として、一連の流れで考える必要がある。関係各課と連絡調整、調査研究をした上で検討していきたい。

**問** 現在、相談事業やファミリースUPPORT事業など子育て支援はあがるが、家事労働を助ける制度がない。ボランティア精神に溢れるシルバード世代に協力してもらい、希望時に低料金で利用できるようにしてほしい。

**答** 保健環境課長  
人員の確保など体制づくりを整えないと、実施できないと考える。現在、鳴門市がヘルパー事業を行っているが、昨一年間で利用した人はいないとのことである。そのような状況も踏まえながら考えていきたい。

**問** 今年度出生数19人は、町の存続危機的状態である。なぜ子どもを産む数が減っているのか根本的原因を考えるべきであり、母親の負担を減らす支援をしていくべきである。

**答** 前田町長  
29年度の出生数については危機感を持っている。職員で少子化対策のプロジェクトチームを作り、対応しているところである。

## 教員の働き方改革に対する町の方針は

〈教育次長〉 今までと違った工夫・調整を検討する

**問** ①過労死ラインの教職員が半数以上という文科省の勤務実態の公表を受け、海陽町教職員の超過勤務の実態はどうか。②授業の準備や教材の研究等に充てる時間は、十分捻出できているのか。③教育の出退勤時間管理のためのタイムカード等は導入できているのか。④現状を改革するために、町はどのような対策を立てているのか。⑤夏・冬・春の長期休暇中の休日短縮や、一日の授業時間数を減らし、年間授業日数を増やして児童生徒の学力向上や、自然災害・インフルエンザ

等の臨時休校に備えたりする対策、計画は。

**答** 奥原教育次長  
①小学校で28時間から55時間、中学校で52時間から77時間の超過勤務となっている。②授業準備への努力はしているが、十分な時間確保ができない状況。③タイムカードの導入は行っていないが、出勤簿で出勤の管理を行っている。④事務処理など改善できることはしており、県教育長会でも協議して、県教委・中体連ほか各教育団体への要望を行っている。海陽町では町費職員の有効活用に向けて改善を検討している。

⑤長期休業日の短縮は、新学習指導要領が本格実施する平成32年度に向けて検討を進めている。教育課程の変更に対応して、今までと違った工夫・調整を検討していく。



宍喰中学校の授業風景

**問** 外部指導員を導入し、部活動の実技指導や大会引率をしてみよう。スクールサポートスタッフの配置等、自治体が改善策を出して要望していくべきではないのか。

**答** 岡田教育長  
それらについて十分検討している。県の教育長会も含め県教委や県内での調整を進めている。今後さらに施策を進めていきたい。

教師がゆとりを持てるよう改善し、未来の町の人材づくりに力を入れてほしい。

一般質問



活動内容を教えてください。

月4回、松原ふれあい会館、海部老人福祉センター、穴喰憩いの家で(公益社団法人)日本フォークダンス連盟公認指導者により「ふるりの民踊」や「楽しい民踊」を健康維持のため、体を動かし楽しく仲間との絆を大切に、和気あいあいと踊っております。また、町内外のイベント等にも積極的に参加しております。

練習時間は午後1時30分〜と、午後7時30分〜となっておりますので、ふるってご入会ください。心よりお待ちしております。楽しい民踊の輪を広げましょう。



恒例の海部川筋盆踊り大会

楽しく踊りませんか？

海陽町のいいところは？

景色はもちろん素晴らしいし、新鮮な野菜や魚が豊富です。

海陽町に対する要望はありますか？

地震災害の多い昨今、海陽町が住むことにおいて、安全安心の町であることをもう少しPRして、全国的に知ってほしい…と思います。

議会だよりを読んでいますか？

よく読んでいます。町の動きがよく分かり、発刊が待ち遠しく楽しみにしています。



地球温暖化が進み、世界各地で大  
雨や災害が相次いでいます。年々厳  
しさを増す夏の暑さも落ち着き、やっ  
と秋らしい気候となり、ほっとして  
います。  
一方、世界を見渡すとミサイル発  
射、核実験、テロ、地域紛争など、  
不安情勢がはびこっています。  
この議会広報が皆様の手元に届く  
頃には、衆議院選も済んでいること  
でしょう。安全安心で未来に明るさ  
の見える社会実現に向け、安定した  
国政となるよう努力してほしいもの  
です。  
町議会も町民の意見がしっかりと反  
映できるよう、議会活動に取り組ん  
でいます。読んでもらえる広報を委  
員一同、日々努力、挑戦しています。  
皆様もぜひ議会傍聴をし、ご意見  
をお聞かせください。  
(原)

編集後記